



## ナンバーワンを目指す中で

校長 石川 颯一



▲校庭の桜

校庭の桜は、今日の始業式・入学式に合わせて爛漫に咲き乱れています。満開の桜は、入学記念のスナップ写真に、色を添えてくれることでしょう。お子様の進級・入学おめでとうございます。

この度、歴史と伝統のある大砂土東小学校に着任いたしました石川颯一と申します。何卒よろしく願いいたします。

今春は、184名の1年生を迎え、1,097名、37学級でスタートを切ります。たくさん子どもたちが「笑顔」で過ごせるよう全教職員一丸となって努めてまいります。“今”の笑顔はもちろん大切ですが、“未来”も笑顔でいられるよう、この大砂土東小学校で多くのことを身に付けてもらいたいものです。そして、笑顔でいられる理由は、「楽しく過ごしているから」に留まらず、「幸福で充実した人生だから」でもあってほしいです。

さて、私はスポーツ観戦を趣味としています。近頃、スポーツの話題として連日取り上げられるのは、アメリカ大リーグ 大谷翔平選手の活躍のことです。おそらくスポーツ観戦に興味がない方でも、大谷選手の活躍は御存じのことでしょう。

ところで、大谷選手のように華々しい好成績を上げたナンバーワンの選手がいる一方で、思うような結果を残せず悔しい思いをしている選手が数多くいるのが現実です。このことは、スポーツの世界に限ったことではありません。勉強や仕事でも、スポーツのようにナンバーワンを目指して取り組んでも、多くは期待どおりの結果を収められず悔しい思いをします。

一方で、このナンバーワンではなく、オンリーワンにこそ価値があるとする考え方もあります。誰もが唯一無二の存在であり、いるだけで価値があります。このオンリーワンは、競争社会の中で生きる私たちに夢や勇気を与えてくれます。ただ、「一番にならなくてもいい」「自分は特別な存在だ」と現実から逃避するための口実にもなりかねない怖さがあります。

私は、ナンバーワンを目指して自分を磨く中で、いつしかオンリーワンに気付くであろうと思っています。ナンバーワンは目的ではなく手段なのです。ナンバーワンへの過程の中で得た自分自身こそがオンリーワンです。ナンバーワンを目指してどれだけ力を出し切り、どのような失敗を経験したかが、その人の個性や自分らしさが決まると思うのです。

令和7年度大砂土東小学校は、子どもたちに、精一杯努力することを求めていこうと思います。ご家族や地域の方々にお力添えをいただき、未来を生きる子どもたちに、ナンバーワンを目指す中でオンリーワンに気付かせたいです。